

令和 2 年度  
日本技術士会東北本部宮城県支部  
年次大会（第 9 回）

注 今年度の年次大会の開催は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として  
中止とし 5 月 22 日書面審議をいたしました。

日時：令和 2 年 6 月 5 日（金）

年次大会 時間：13：30～14：45

記念講演 時間：15：00～16：45

場所：せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター



公益社団法人 日本技術士会 東北本部 宮城県支部  
The Institution of Professional Engineers, Japan

# 令和2年度 日本技術士会東北本部宮城県支部 年次大会(第9回)

開催日：令和2年6月5日(金)  
場 所：せんだいメディアテーク  
7F スタジオシアタ

- 年次大会次第 時間 13:30～14:45
1. 開会
  2. 支部長挨拶
  3. 来賓挨拶
  4. 議長選出(「地域組織の設置運営に関する規則」第12条第3項を適用し、支部長が議長となる)
  5. 議事
    - 報告事項1 2019年度事業報告
    - 報告事項2 2019年度決算報告・会計監査報告
    - 報告事項3 令和2年度事業計画(案)
    - 報告事項4 令和2年度予算書(案)
  6. その他
  7. 閉会

---

■記念講演 時間 15:00～16:45

演 題：仮称「東日本大震災から9年間の取組について」  
講 師：佐藤伸吾氏（国土交通省東北地方整備局北上下流河川事務所長）

**注 今年度の年次大会の開催は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として  
中止とし5月22日書面審議をいたしました。**

## 報告事項1 2019 年度事業報告（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）

### 1. 全体総括

#### (1)はじめに

平成 31 年度・令和元年度は、平成 31 年度に新たに選出された役員で活動を展開してきた。

平成 23 年 4 月に公益社団法人へ移行してからも、宮城県支部の委員会活動は県内に特化したテーマについて各委員会が専門テーマを持ち寄り、講習会や研修会を開催した。

#### (2)委員会活動の総括

##### ■総務企画委員会（各委員会活動の調整と東北本部活動との企画を連携調整する。）

令和元年 9 月に開催した「第 22 回東北 3 地域本部技術士交流研修会」の運営に協力した。

宮城県との防災協定後の助言支援技術者による活動の展開は、令和元年度は要請がなく、どのような運用とするか内部の体制整備と併せて支部長を中心に検討している。

##### ■広報委員会（宮城県支部の全般に亘る活動を報告・広報する。）

ホームページの更新・運用（維持管理）及び東北本部との連携で機関紙「GAIA」への活動報告を担当した。

##### ■防災委員会（防災に関する啓蒙・宣伝と東日本大震災の復興進捗状況の広報等の活動をする。）

本部防災委員会と連携して現場見学会を開催した。

・令和元年 10 月に「日本技術士会東北本部宮城県支部防災委員会現場研修会」を開催した。

東北本部防災委員会及び東北本部建設部会と連携して宮城県気仙沼土木事務所管内の「中島海岸及び津谷川・外尾川災害復旧事業」、「大谷海岸防潮堤整備事業」の復旧状況を視察した。また、気仙沼市の東日本震災遺構・伝承館を視察した。

・東北本部防災委員会（5 回開催）に出席し、東北本部防災委員会行事との連携を図って行動した。

・宮城県支部が宮城県と締結している「大規模災害時における被災箇所への復旧に係る助言に関する協定書」について、具体的な活動内容を検討するため、事務局（宮城県土木部防災砂防課）と担当者レベルで意見交換を行った。

##### ■環境委員会（会員相互の意見交換及び環境に関する活動をする。）

令和元年 10 月に、「森林動物との共存を科学する」と題して第 15 回環境対応セミナーを開催した。

また、環境委員会委員相互の研修会として計 7 回研修を実施した。

##### ■技術委員会（防災及び環境委員会に属さない技術全般の活動を展開する。）

東北本部（建設部会）と連携して活動した。

・令和元年 5 月に、宮城県支部年次大会記念講演についての企画、計画、進行を担当した。

（演題：「災害対応経験の継承：東北のあの日まで、あの日から」、講師：佐藤翔輔氏）

・令和元年 10 月に、「建設業の技術開発の最前線」と題して第 1 回技術委員会講演会を開催した。

・東北本部建設部会の定例会議及び行事へ参加した。

##### ■豊年技術士懇談会（広く浅く卓越した豊年技術者の経験談を聴く会を開催する。）

・令和元年 7 月に、「シニアファーストで日本を元気に！」と題して第 1 回豊年技術士懇談会講演会を開催した。

・令和 2 年 2 月に、「地名から知る自然災害と防災」と題して第 2 回豊年技術士懇談会講演会を開催した。

(3)2019年度の役員状況(2019年7月6日現在)

役職及び担当	氏名	所属	部門
支部長	遠藤 敏雄	(株)復建技術コンサルタント	建設
副支部長(技術委員会委員長兼務)	柳沢 新市	パシフィックコンサルタンツ(株)	建設・総合
副支部長(本部政策事業委員兼務)	叶内 榮治	(株)三協技術	建設
幹事(事務局次長兼総務企画委員会委員長)	幡野 玲二	(株)テクノ東北	建設・総合
幹事(広報委員会委員長)	梶谷 真	(株)東建工営	建設
幹事(防災委員会委員長)	平間 光雄	(株)東北開発コンサルタント	建設・総合
幹事(環境委員会委員長)	山本 真之	パシフィックコンサルタンツ(株)	上下水道・総合
幹事(豊年技術士懇談会委員長)	岸 憲之	(株)東建工営	建設・総合
幹事(事務局次長兼総務企画委員会)	池澤 紀幸	(株)復建技術コンサルタント	建設・総合
幹事(広報委員会)	○ 舟山 和重	セントラルコンサルタント(株)	建設
幹事(広報委員会)	○ 小川 稔	(株)ダイワ技術サービス	建設
幹事(防災委員会)	住吉 晴夫	住吉技術士事務所	建設
幹事(防災委員会)	○ 濱岡 正	青木あすなろ建設(株)	建設
幹事(防災委員会)	○ 藤川 洋一	(株)東京建設コンサルタント	建設・総合
幹事(環境委員会)	長沼 博	(株)ユアテック	電気電子
幹事(環境委員会)	○ 千葉 岳彦	北武コンサルタント(株)	建設
幹事(技術委員会)	○ 柴田 吉勝	(株)ダイヤコンサルタント	建設
幹事(技術委員会)	○ 田子 洋一	(株)新星コンサルタント	建設・総合
幹事(豊年技術士懇談会)	小関 憲一	(株)復建技術コンサルタント	建設・総合
幹事(豊年技術士懇談会)	○ 佐々木 徹	ドーピー建設工業(株)	建設・総合
会計幹事(豊年技術士懇談会)	森井 淳司	(株)東建工営	上下水道

○:新規役員

※幹事の任期は統括本部の「地域組織の設置運営に関する規則」第8条により、2019年の統括本部定時総会(6月13日開催)終結後から2020年の統括本部定時総会終結時までの2年間となります。

2. 会員に関する事項

令和2年4月1日現在の会員状況(日本技術士会HPより)

名誉会員:3名、本会員:574名、準会員:.64名。

機械	10名	船舶・海洋	0名	航空・宇宙	1名	電気電子	49名	化学	0名
繊維	0名	金属	2名	資源工学	1名	建設	418名	上下水道	27名
衛生工学	5名	農業	49名	森林	7名	水産	5名	経営工学	3名
情報工学	6名	応用理学	45名	生物工学	2名	環境	26名	原子力・放射線	2名
総合技術監理	168名								

### 3. 運営方針に対する取り組み状況

2019 年度 運営方針	取り組みの概要及び課題
<p><b>(1)組織強化</b></p> <p>①組織の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業・官公庁の企業内技術士に活動の連携を呼びかける。</li> <li>●委員会活動の充実と各種委員の増強を図る。</li> <li>●東北本部と宮城県支部の委員会活動の役割分担を明確化した。</li> </ul> <p>宮城県支部の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北本部の基本的業務(倫理・試験等)の支援・整合</li> <li>・東北本部・専門部会の事業(講演会・研修会)の支援・整合</li> <li>・宮城県支部としての独自の事業(講演会・研修会等)の実施</li> <li>・会員拡大・広報(HP等)の実施</li> <li>●各種団体との連携を促進し、社会に開かれた活動を実践する。</li> </ul> <p>②会員の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●宮城県支部の会員は日本技術士会会員で構成されているが、日本技術士会Web名簿により逐次会員数を把握し、未加入者の入会を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外に開かれた組織活動をめざしたが活動は停滞傾向にあった。</li> <li>・防災委員会、環境委員会、技術委員会、豊年技術士懇談会が活動を展開した。</li> <li>・防災委員会が東北本部の防災委員会と、又、技術委員会が東北本部の建設部会と連携した活動を実施した。</li> <li>・各種団体との連携した活動は停滞傾向にあった。</li> <li>・平成 31 年 4 月現在の 573 名から令和 2 年 4 月現在の 574 名へ現状維持(1 名増)。</li> <li>・未加入者の入会促進は役員個別で展開した。</li> </ul>
<p><b>(2)地域社会との交流</b></p> <p>①産・学・官との交流を図り、宮城県支部の位置づけを高める。</p> <p>②協同イベント(シンポジウム、講演会、研修会)を実施する。</p> <p>③平成 28 年7月に締結された「宮城県との災害協定(啓蒙宣伝活動、実際の支援行動)」の実施体制を確立する。 自治体との災害協定について問題点を整理する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年 9 月に開催した「第 22 回北東 3 地域本部技術士交流研修会(仙台)」の運営において東北本部へ協力した。</li> <li>・防災委員会は本部防災委員会と、技術委員会は本部建設部会と連携して活動を展開した。</li> <li>・令和元年度は災害協定に基づく具体的な活動はなかった。具体的な活動内容について検討中。</li> <li>・自治体との災害協定は未実施。</li> </ul>
<p><b>(3)地域貢献</b></p> <p>①町内会、小中学校、高校等への出前講座(科学技術基本計画支援の実践など)を実施する。</p> <p>②環境保全(自然、生活)、資源の有効利用(エネルギー、リサイクル等)、防災(地震津波)、食の安全(添加物、自然食品の活用等)等のテーマを持って具体的に広報活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座は低調傾向にあった。</li> <li>・環境委員会及び豊年技術士懇談会が主体となり、地域貢献活動を行った。</li> <li>・令和元年 10 月に地域住民が参加した第 15 回環境対応セミナーを開催した。</li> </ul>

#### 4. 役員会の開催

	日 時	場 所	議 題
第 1 回	平成 31 年 4 月 16 日	宮酪会館 1F 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019 年度実施報告と 2020 年度の実施計画について</li> <li>・2019 年度収支決算書並びに 2020 年度予算書について</li> <li>・2019 年度宮城県支部幹事候補者の選定について</li> </ul>
	令和元年 5 月 31 日	せんだいメディアテーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 8 回 2019 年度宮城県支部年次大会開催</li> </ul>
第 2 回	令和元年 7 月 24 日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県支部ホームページ更新について</li> <li>・東日本大震災からの復興 10 周年記念事業実施方針(案)について</li> </ul>
第 3 回	令和元年 10 月 16 日	宮酪会館 1F 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県支部ホームページ更新について</li> <li>・東日本大震災からの復興 10 周年記念事業実施方針(案)について</li> <li>・宮城県との災害協定に関する活動について</li> </ul>
第 4 回	令和 2 年 2 月 14 日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 50 回日韓技術士国際会議 運営委員会設置について</li> </ul>
第 5 回	令和 2 年 3 月 18 日	電子会議を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 50 回日韓技術士国際会議 運営委員会設置について</li> <li>・2019 年度事業報告と令和 2 年度事業計画について</li> <li>・2019 年度決算及び令和 2 年度予算について</li> </ul>

#### 5. 委員会活動報告

##### (1) 総務企画委員会

- 各種委員会活動の連携調整、イベント開催の企画・調整。
  - ・東北本部の地域産学官セミナーに取り組んだ。
- 関係機関及び地方自治体と調整し、活動の場を創出する。
  - ・宮城県との防災協定による要請は、令和元年度はなかった。
- 会員の把握、未加入技術士の会員加入促進(東北本部と連携)。
  - ・毎年年度初めに統括本部のHPにて確認した。
  - ・新規加入をお願いした技術者は数名であった。

##### (2) 広報委員会

- 宮城県支部・ホームページの更新・運用(維持管理)
  - ・令和元年度は、ホームページの更新をその都度実施した。
- 宮城県支部の活動報告
  - ・宮城県支部の活動報告を「GAIA」に掲載した。
- 各種セミナー等の広報
  - ・各委員会活動等をホームページへ掲載した。

### (3)防災委員会

#### ■東北本部建設部会・防災委員会と連携して現場見学会を開催した。

- ・令和元年10月に「日本技術士会東北本部宮城県支部防災委員会現場研修会」を開催した。

宮城県気仙沼土木事務所管内の「中島海岸及び津谷川・外尾川災害復旧事業」、「大谷海岸防潮堤整備事業」の復旧状況を視察した。また、気仙沼市の東日本震災遺構・伝承館を視察した。現場案内・説明者：気仙沼土木事務所技術副参事兼次長(総括担当)、班長から細部にわたる説明をいただいた。

開催日：令和元年10月24日 参加者：技術士15名(男性)

#### ■東北本部防災委員会との連携

- ・令和元年度東北本部防災委員会第1回～第5回に出席し、東北本部防災委員会行事との連携を図って東北本部行事や現場見学会を行った。

### (4)環境委員会

#### ■環境委員会相互の研修及び意見交換

- ・第1回技術研修会(平成31年4月22日)

「我が国のエネルギー政策と将来対応について」(担当：又城委員)

- ・第2回技術研修会(令和元年6月3日)

「あかりの仕事 照明の概念が変わる ～照明の役割未来へ～」(担当：長沼委員)

- ・第3回技術研修会(令和元年8月5日)

「海岸近傍におけるコンクリート構造物の劣化特性について」(担当：加藤委員)

- ・第4回技術研修会(令和元年9月2日)

「町ナビ資料 仙台城下“川内追廻”」(担当：及川委員)

- ・第5回技術研修会(令和元年10月7日)

「これからのみやぎの水道・下水道を考えよう」(担当：山本委員)

- ・第6・7回技術研修会(令和2年1月14日)

「バイオマス(BIOMASS)について」(担当：上村委員)

「海岸の役割と現状を知る」(担当：半澤委員)

#### ■研修会の開催

- ・第15回環境対応セミナーを開催した。参加者 40名(技術士31名、一般9名)

開催日：令和元年10月25日

演題：「森林動物との共存を科学する」

講師：江成広斗氏(山形大学学術研究院准教授博士(農学))

### (5)技術委員会(防災及び環境委員会に属さない技術全般の活動を展開する。)

#### ■講演会・研修会の開催

- ・宮城県支部年次大会記念講演の企画、計画、進行を担当した。参加者 74名(技術71名、一般3名)

開催日：令和元年5月31日

講演：「災害対応経験の継承：東北のあの日まで、あの日から」

講師：佐藤翔輔氏(東北大学災害科学国際研究所准教授)

- ・令和元年度第1回技術委員会講演会を開催 参加者 38名(技術士38名、一般0名)

開催日：令和元年10月9日

演題：建設業の技術開発の最前線

講師：石川 裕氏(清水建設株式会社 専務執行役員 技術研究所長・技術戦略室長)

#### ■その他本部との連携活動

- ・東北本部建設部会：定例会議及び行事への陪席(柳沢委員長)

## (6) 豊年技術士懇談会

- ・令和元年度 第1回豊年技術士懇談会講演会を開催した。  
参加者:49名(技術士38名、一般11名)  
開催日:令和元年7月25日  
演題:「シニアファーストで日本を元気に!」と題して講演会を開催した。  
講師:近藤昇氏(株式会社ブレインワース 代表取締役)
- ・令和元年度 第2回豊年技術士懇談会講演会を開催した。  
参加者:61名(技術士50名、一般11名)  
開催日:令和2年2月6日  
演題:「地名から知る自然災害と防災」と題して講演会を開催した。  
講師:太宰幸子氏(宮城県地名研究会・会長)

## 6. 東北本部連携

### ■東北本部連携活動として政策事業委員会に出席(叶内副支部長)

- ・第1回政策事業委員会 実施日:令和元年4月9日  
主な議題:【審議事項】
  - (1)東北本部年間スケジュールおよび行事について
  - (2)東北本部事業計画(案)について
  - (3)平成31年度第22回北東3地域本部東北開催について
  - (4)東北本部年次大会について
- ・第2回政策事業委員会 実施日:令和元年6月17日  
主な議題:【審議事項】
  - (1)令和元年度東北本部年間行事予定
  - (2)令和元年度の体制について
  - (3)令和元年度予算の執行について
    - ・県支部予算、・部会・委員会予算、・第46回全国大会参加補助金、
    - ・第49回日韓技術士会議参加補助金
  - (4)(仮称)震災10周年事業(案)について
- ・第3回政策事業委員会 実施日:令和元年9月9日  
主な議題:【審議事項】
  - (1)ガイアへの企業広告について【確認・報告】
  - (1)今後の行事予定の報告
  - (2)第1回総務委員会の報告
  - (3)第50回日韓技術士国際会議の準備状況について報告
  - (4)東日本大震災10周年記念事業の準備状況についての報告
  - (5)Web会議システム対応について
- ・第4回政策事業委員会 実施日:令和元年12月10日  
主な議題:【審議事項】
  - (1)2020年度東北本部予算(案)について
  - (2)2020年度東北本部事業計画(案)について
  - (3)2020年度会長表彰の東北本部推薦者について
  - (4)河北新報への広告の件(事後承諾)



報告事項2 令和元年度決算・会計監査報告

令和元年度 日本技術士会 東北本部 宮城県支部 収支決算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
I. 事業活動収入				
1. 事業収入	130,000	0	130,000	
参加費収入	130,000	0	130,000	
2. 地域組織収入	700,000	700,000	0	
地域組織収入	700,000	700,000	0	東北本部からの交付金
3. 雑収入	1,801,506	1,801,516	△ 10	
受取利息	0	10	△ 10	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	1,801,506	1,801,506	0	
4. 事業活動収入計(A)	2,631,506	2,501,516	129,990	
II. 事業活動支出			0	
1. 事業費(①+②+③+④)	2,631,506	734,276	1,897,230	
①事業広報費	140,000	104,350	35,650	
インターネット運用費	120,000	104,350	15,650	ホームページ・サーバー維持費
その他の広報活動費	20,000	0	20,000	全国大会広告費
②研鑽費	90,000	117,972	△ 27,972	
講演会・見学会開催費	90,000	117,972	△ 27,972	年次大会講師謝礼、会場費
③業務推進費<(1)+2)+3)>	630,000	503,914	126,086	
1)会議費等	200,000	169,928	30,072	
会議費	30,000	35,880	△ 5,880	会議室使用料等
旅費交通費	10,000	0	10,000	宮城県支部代表としての旅費交通費
通信運搬費	120,000	115,898	4,102	電話・プロバイダ料・郵便
消耗品費	10,000	8,150	1,850	名刺印刷代等
印刷製本費	10,000	0	10,000	宮城県支部役員会資料印刷費等
各種会合費	10,000	0	10,000	振り分ける科目がない行事
光熱水料費	10,000	10,000	0	東北本部へ支払い
2)地域委員会活動費	380,000	283,554	96,446	
防災委員会	100,000	48,485	51,515	会場費、講師謝礼、印刷費等
環境委員会	100,000	94,658	5,342	会場費、講師謝礼、印刷費等
技術委員会	90,000	56,400	33,600	
豊年技術士懇談会	90,000	84,011	5,989	会場費、講師謝礼、印刷費等
3)雑費その他	50,000	50,432	△ 432	事務委託費他
④予備費他	1,771,506	8,040	1,763,466	
助言支援活動費	100,000	8,040	91,960	宮城県との災害協定に関する活動費
予備費	1,671,506	0	1,671,506	
2. 事業活動支出計(B)	2,631,506	734,276	1,897,230	
III. 次期繰越収支差額金(A)-(B)	0	1,767,240	△ 1,767,240	

残金内訳

科 目	金 額
現金	722,649
七十七銀行県庁支店	1,043,591
ゆうちょ銀行	1,000
合計	1,767,240

会計監査報告

公益社団法人日本技術士会東北本部宮城県支部 平成31年度・令和元年度決算について帳簿、金庫を監査したところ適正に経理されていることを認めます。

令和2年4月21日

森井淳司



## 報告事項3 令和2年度事業計画(案)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

### 1. 運営方針

#### (1)組織の強化

##### ①組織の活性化

- 企業・官公庁の企業内技術士に活動の連携を呼びかける。
- 委員会活動の充実と各種委員の増強を図る。
- 各種団体との連携を促進し、社会に開かれた活動を実践する。

##### ②会員の拡大

- 宮城県支部の会員は日本技術士会会員で構成されているが、日本技術士会Web名簿により逐次会員数を把握し、未加入者の入会を促進する。

#### (2)地域社会との交流

- ①地域産学官と技術士合同セミナーに協力し、産・学・官の交流を図り、宮城県支部の位置づけを高める。
- ②協同イベント(シンポジウム、講演会、研修会)を実施する。
- ③自治体との災害協定(啓蒙宣伝活動、実際の支援行動)の締結を検討する。
- ④宮城県との災害協定に基づいた活動の運用細則を検討する。

#### (3)地域貢献

- ①町内会、小中学校、高校等への出前講座(科学技術基本計画支援の実践など)の実施を検討する。
- ②環境保全(自然、生活)、資源の有効利用(エネルギー、リサイクル等)、防災(地震津波)、食の安全(添加物、自然食品の活用等)等のテーマを持って具体的に広報活動をする。

### 2. 役員会の開催及び予定

	日 時	場 所	議 題
第1回	令和2年5月11日	電子会議を実施	・平成31年度・令和元年度収支決算書並びに令和2年度予算書について ・第9回令和2年度宮城県支部年次大会並びに記念講演について
	令和2年6月5日	せんだいメディアテーク (新型コロナウイルス感染拡大防止のため年次大会開催は中止とし資料はHPへ掲載した。 記念講演開催は新たに企画する。	・第9回令和2年度宮城県支部年次大会並びに記念講演
第2回	令和2年8月	宮酪会館 1F 会議室	・宮城県支部の活動について ・宮城県との災害協定における支援技術者の活動について
第3回	令和2年10月	〃	・委員会の活動報告について ・令和2年度収支決算書並びに令和3年度予算書について
第4回	令和3年1月	〃	・委員会の活動報告について
第5回	令和3年3月	〃	・令和2年度収支決算書について ・令和3年度事業計画並びに令和3年度予算書について

### 3. 委員会活動

各委員会は委員数を充実し、宮城県に特化した独自の活動を充実する。

#### (1) 総務企画委員会

- 各種委員会活動の連携調整、イベント開催の企画・調整。
- 関係機関及び地方自治体と調整し、技術士活動の場を創出する。
- 会員の把握、未加入技術士の会員加入促進（東北本部と連携）。

#### (2) 広報委員会

- 宮城県支部・ホームページの運用（維持管理）
- 宮城県支部の活動報告
- 各種セミナー等の広報

#### (3) 防災委員会

東北本部防災委員会と連携を図って宮城県支部防災委員会としての活動をする。

- 現場視察・勉強会
- 宮城県災害協定に基づいた行動の取組に向けた準備を推進する。  
有事の際に企業内技術士及び個人としての技術士の参画をお願いする方策と、具体の活動方法について、河川災害の予備演習を企画する。

#### (4) 環境委員会

- 環境委員会相互の研修及び意見交換
  - ・各委員相互の研修成果の発表、意見交換の場を計7回程度設ける。
- 研修会の開催
  - ・第16回環境対応セミナーを開催する。  
開催日：令和2年10月（予定） 場所：仙台市市民活動サポートセンター（予定）

#### (5) 技術委員会

- ・東北本部及び宮城県支部の各部会と連携し、活動を計画し推進する。
- 技術講演会の開催
  - ・（基本方針）東北本部各部会及び宮城県支部の他委員会に属さない技術全般のテーマを構想し、検討・計画・実施していく。
- 東北本部との連携活動
  - ・建設部会との連携活動：定例会へ出席し、可能であれば行事を共催または行事へ参加・活動支援を行っていく。
- 宮城県支部年次大会記念講演
  - ・宮城県支部年次大会記念講演の企画、計画、進行を担当する。
- 技術委員会委員の増員
  - ・技術委員会委員の増員を図る。（現在3名）

#### (6) 豊年技術士懇談会

- 広く浅く卓越した豊年技術者の経験談を聴く会の開催
  - ・国内、海外の目新しい話題や会員の要望のある話題を提供する。
  - ・2020年度は前期、後期に分けて2回講演会を行う予定。

## 報告事項 4 令和2年度予算書（案）

令和2年度 日本技術士会 東北本部 宮城県支部 予算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	令和2年度 予算額(案)	令和元年度 予算額	増減額	備 考
<b>I. 事業活動収入</b>				
1. 事業収入	130,000	130,000	0	
参加費収入	130,000	130,000	0	技術委員会・防災委員会等参加費
2. 地域組織収入	600,000	700,000	△ 100,000	
地域組織収入	600,000	700,000	△ 100,000	東北本部からの交付金
3. 雑収入	1,767,240	1,801,506	△ 34,266	
受取利息	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	1,767,240	1,801,506	△ 34,266	
4. 事業活動収入計(A)	2,497,240	2,631,506	△ 134,266	
<b>II. 事業活動支出</b>			0	
1. 事業費(①+②+③+④)	2,497,240	2,631,506	△ 134,266	
①事業広報費	140,000	140,000	0	
インターネット運用費	120,000	120,000	0	ホームページ・サーバー維持費
その他の広報活動費	20,000	20,000	0	
②研鑽費	90,000	90,000	0	
講演会・見学会開催費	90,000	90,000	0	年次大会講師謝礼、会場費
③業務推進費<(1)+2)+3)>	630,000	630,000	0	
1)会議費等	200,000	200,000	0	
会議費	30,000	30,000	0	会議室使用料等
旅費交通費	10,000	10,000	0	宮城県支部代表としての旅費交通費
通信運搬費	120,000	120,000	0	電話・プロバイダー料・郵便
消耗品費	10,000	10,000	0	コピー用紙等
印刷製本費	10,000	10,000	0	宮城県支部役員会資料印刷費等
各種会合費	10,000	10,000	0	振り分ける科目がない行事
光熱水料費	10,000	10,000	0	東北本部へ支払い
2)地域委員会活動費	380,000	380,000	0	
防災委員会	100,000	100,000	0	会場費、講師謝礼、印刷費等
環境委員会	100,000	100,000	0	会場費、講師謝礼、印刷費等
技術委員会	90,000	90,000	0	会場費、講師謝礼、印刷費等
豊年技術士懇談会	90,000	90,000	0	会場費、講師謝礼、印刷費等
3)雑費その他	50,000	50,000	0	事務委託費他
④予備費他	1,637,240	1,771,506	△ 134,266	
助言支援活動費	100,000	100,000	0	宮城県との災害協定に関する活動費
予備費	1,537,240	1,671,506	△ 134,266	
2. 事業活動支出計(B)	2,497,240	2,631,506	△ 134,266	
<b>III. 次期繰越収支差額金(A)-(B)</b>	0	0	0	